



地域住民の安全を願い  
消毒用商品を寄贈

5月8日、小鹿酒造株式会社(吾平町上名)から市へ、手指消毒用高濃度アルコール商品「KOJIKA SPIRITS 72」400本の寄贈をいただきました。この商品は、高濃度の酒類の一部が手指消毒に使用可能になったことから、同社が新たに製造したものの。いただいた商品は、市内の医療機関等に配布し、新型コロナウイルス感染症等の予防対策に活用させていただきます。



小中学校へ除菌電解  
水給水器を寄贈

5月8日、株式会社中央電機(笠之原町)から笠野原小・寿小・寿北小・鹿屋東中学校へ除菌電解水給水器4台の寄贈をいただきました。この給水器は手洗い等に使用できる除菌電解水を精製するためのもの。いただいた給水器は各学校の保健室にそれぞれ設置され、新型コロナウイルス感染症等の予防対策に活用されています。



子どもたちのために  
児童図書などを寄贈

5月7日、安藤かおりさん(吾平町麓)から吾平振興会館の図書室に、本45冊の寄贈をいただきました。この本は、安藤さん自らの闘病体験を記したエッセーが「第3回生命を見つめるフォト&エッセー」で日本医師会賞を受賞し、その賞金を使って購入されたもの。安藤さんは「たくさんの子どもたちに読んでもらいたい」と話しました。



災害時に給油所を  
活用する協定を締結

4月21日、鹿児島県石油商業組合鹿屋支部と市との「災害時の支援活動等に関する協定調印式」が行われました。この協定は、市内で災害が発生又は発生するおそれがある場合に、緊急通行車両等への優先的な給油や給油所を一時休憩所として活用することなどを定めたもの。これにより、災害時の円滑な復旧や被災者等に対する支援が期待されます。



立派な乳用牛に成長  
することを願って

4月17日、鳴之尾牧場で、春の入牧が行われました。これは、生後6か月前後の乳用牛を預かり、広い土地で放牧することで、健康で足腰の強い乳用牛へと育てることを目的に春と秋に行われるもの。この日入牧した53頭は、元気な様子で牧場に到着。すでに放牧中の牛と合わせて106頭が自然豊かな鳴之尾牧場でともに過ごします。



国体の選手たちに  
元気を届けよう

4月13日から、市役所で「燃ゆる感動がごしま国体応援メッセージアート」の展示が始まりました。このアートは、国体に出場する選手を応援するために応援メッセージのシール約1万枚を貼り合わせて作るもの。6月30日(火)までは自由にメッセージを書くことができ、完成後は市内で開催される国体の競技会場等で展示される予定です。